

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：議会費 項：議会費 目：議会費

事業名 議会タブレット端末等導入事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

議会事務局 総務課 管理調整係 電話番号：058-272-1111 (内 3312)

E-mail：c12159@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,465 千円 (前年度予算額：8,225 千円)

< 財源内訳 >

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,225	0	0	0	0	0	0	0	8,225
要求額	8,465	0	0	0	0	0	0	0	8,465
決定額	8,465	0	0	0	0	0	0	0	8,465

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

議会における議案及び配布資料は、膨大な紙の印刷物として配布され、本会議や委員会に出席する際は、その資料を持参する必要がある。また、その膨大な資料の中から目的の議案や資料を探し出すには、それなりの時間を要する。

令和元年9月、岐阜県議会活性化改革検討委員会にて、本会議及び各委員会において、資料のペーパーレス化を図り、また、政策提言・立案機能強化を目指した改革のため、タブレット端末を導入する方向で調整を行っている。

令和3年第2回定例会から、本会議及び各委員会にてタブレットの導入を予定。なお、試行期間として、紙資料は併用する。

(2) 事業内容

- ・本会議及び各委員会におけるタブレット端末の導入及び使用料
- ・導入するアプリの使用料
- ・タブレット及び導入するアプリの使用に係る講習会の実施

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 10/10 (岐阜県議会に係る経費であるため)

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	192	・ ペーパーレス会議システムアプリ講習会費用弁償
消耗品費	428	・ Apple Pencil 購入費
委託料	176	・ ペーパーレス会議システムアプリ導入委託
使用料	7,669	・ タブレット端末リース料及びペーパーレス会議システムアプリ使用料
合計	8,465	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和元年 1 2 月岐阜県議会活性化改革検討委員会における中間答申

(2) 国・他県の状況

現在、7 団体にてタブレット端末を議員へ配布（一部執行部へも配布）

(3) 後年度の財政負担

- ・ タブレット端末の使用料及び通信料（リース契約） 長期継続契約
- ・ ペーパーレス会議システムアプリ使用料（端末の契約期間に合わせて契約）

項目	運用費（千円）			総額（千円）
	R 3	R 4	R 5	
タブレット使用料等	6,436	7,702	3,302	17,440
アプリ使用料	1,661	1,716	715	4,092
アプリ設定委託等	368	0	0	368
総額（千円）	8,465	9,418	4,017	21,900

(4) 事業主体及びその妥当性

議員へのタブレット端末の貸与であるため、議会事務局が主体となっていくべきものである。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業
継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 タブレット端末を活用することで、議会及び委員会において、膨大な配布物の削減ができ、また各種調査活動や事務局との連絡調整の迅速化・効率化・省力化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

指標を設定することができない場合の理由

指標を設定するのになじまない性格の経費であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 情報端末導入調査検討委員会を開催し、情報収集活動を実施
 令和2年度の3月導入予定

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ：必要性が高い ：必要性が低い 	
(評価)	政策提言・立案機能強化を目指した改革のため、岐阜県議会活性化改革検討委員会の答申を踏まえ、議会において、タブレット端末を導入し、ペーパーレス化を図ることは必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている ：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ：効率化は図られている ：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 執行部側との連絡調整をより円滑に行うために、執行部への導入の検討が必要である。また、紙資料の併用を随時解消していく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 議会及び委員会における、紙資料の削減を図りながら、継続的に事業を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【 課 】